

国指定重要無形民俗文化財

吉弘楽

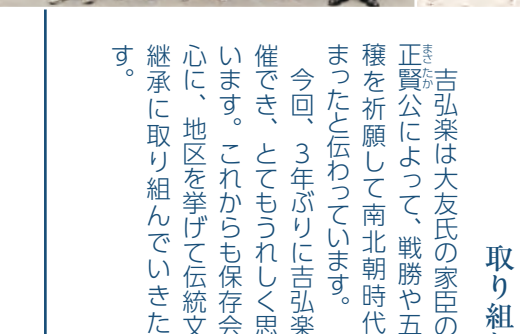
— よしひろがく —



3年ぶりの奉納 楽庭八幡社に 楽人舞う

7月24日、武蔵町吉広の楽庭八幡社で吉弘楽が行われました。コロナ禍で3年ぶりの開催となりましたが、境内で繰り広げられる勇壮な楽打ちは健在。約1時間かけて全ての演目が無事に終わると、関係者は安堵の表情を浮かべていました。

平成8年に国の重要無形民俗文化財に指定された吉弘楽。伝統文化を保護し発展させるため、現在はユネスコ無形文化遺産の登録を目指しています。



吉弘楽保存会 会長
(吉広上区 区長)
長吉 今朝弘さん

地区を挙げて継承に
取り組む

吉弘楽は大友氏の家臣の吉弘正賢公によって、戦勝や五穀豊穡を祈願して南北朝時代に始まったと伝わっています。今回、3年ぶりに吉弘楽を開催でき、とてもうれしく思っています。これからも保存会を中心に、地区を挙げて伝統文化の継承に取り組んでいきたいです。